

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学統計法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	飯塚 稔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
統計学の基礎を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・授業態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
喜岡恵子, 2021, 『Excelではじめる調査データ分析: 企画から統計解析まで』オーム社.						
《授業外における学習方法》						
卒業研究の中で、学んだデータ処理の方法、グラフ作成、統計を活かすこと。						
《履修に当たっての留意点》						
卒業論文で実際に使えるようになることを目指す。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	社会調査の概要と調査の全体の流れを理解し、計画を立てる	配布資料	卒業研究と結び付けて 考えること	
		各コマに おける 授業予定	調査とは、調査の企画			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	数値を質・量に分類できる	配布資料	卒業研究と結び付けて 考えること	
		各コマに おける 授業予定	母集団と標本、データの収集、基本統計量			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	アンケート調査票を作成する際に注意点を配慮できる	配布資料	卒業研究と結び付けて 考えること	
		各コマに おける 授業予定	質問票の作成: 先行研究をもとに、アンケートを作成する			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	データを基に度数分布やヒストグラムを作ることができる	配布資料	卒業研究と結び付けて 考えること	
		各コマに おける 授業予定	クロス集計表、度数分布表とヒストグラム			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	統計における確率の考え方を理解する	配布資料	卒業研究と結び付けて 考えること	
		各コマに おける 授業予定	確率と期待値			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの相関について説明できる	配布資料	収集したデータを自分たちで処理すること
		各コマにおける授業予定	相関		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計を用いた推測の考え方を理解する	配布資料	卒業研究と結び付けて考えること
		各コマにおける授業予定	推測統計		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	検定の目的と方法を説明できる	配布資料	収集したデータを基に検定を行うこと
		各コマにおける授業予定	検定		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	複数の変数からなるデータの分析について理解する	配布資料	卒業研究と結び付けて考えること
		各コマにおける授業予定	多変量解析		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を理解できる	配布資料	卒業研究と結び付けて考えること
		各コマにおける授業予定	因子分析・主成分分析①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を説明できる	配布資料	卒業研究と結び付けて考えること
		各コマにおける授業予定	因子分析・主成分分析②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を調べ理解する	配布資料	卒業研究と結び付けて考えること
		各コマにおける授業予定	回帰分析・ロジスティック分析①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ間の関連を調べ説明できる	配布資料	卒業研究と結び付けて考えること
		各コマにおける授業予定	回帰分析・ロジスティック分析②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	調査の仕方を理解し、倫理的配慮の方法を述べることができる	配布資料	各グループで、研究の倫理的配慮を考えておくこと
		各コマにおける授業予定	調査におけるルール		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分の言葉で背景・目的・方法を述べることができる	配布資料	各自、背景・目的方法を文章化すること
		各コマにおける授業予定	振り返りと総まとめ		